

ねん ど
2023年度

こう べ し がいこくじんしみんかいぎ
「神戸市外国人市民会議」

にちじ ねん がつ にち げつ
日時：2024年3月25日（月）13:00～15:00

ばしよ こうべしやくしよ かい かいぎしつ
場所：神戸市役所24階1247会議室

し だい
次 第

かい かい
1. 開 会

ぎ じ
2. 議 事

さいがいはっせいじ がいこくじんじゅうみん たい たいおう
(1) 災害発生時の外国人住民に対する対応について

しりよう
資料 1

がいこくじんじゅうみん じつたいはあくちょうさ けっかおよ あら しさく
(2) 外国人住民の実態把握調査の結果及び新たな施策について

しりよう
資料 2

へい かい
3. 閉 会

神戸市外国人市民会議 委員名簿 (2023年度～2024年度)

(外国人コミュニティ等関係団体の代表)

在日本大韓民国民団兵庫県地方本部総務部長

い ぼ ちゃん
李 宝 彰

学校法人兵庫朝鮮学園理事長

きむ そつ きよ
金 錫 孝

神戸華僑総会事務局長

せき ほう
石 鋒

一般財団法人神戸万国医療財団理事長

ふりつつ れおんはーと
フリッツ レオンハート

マサヤンタハナン副代表

ずおん ごっく でいえっふ
ズオン ゴック ディエップ

在日本印度商業会議所

かわぐち ふろーら
川口 フローラ

ひょうごラテンコミュニティ代表

にしゃっと とらぼりー
ニシャット トラバリー

神戸大学人文学研究科後期博士課程

おおしろ ろくさな
大城 ロクサナ

(学識経験者)

兵庫県立大学環境人間学部教授

しゅ しんか
朱 信樺

いぬい みき
乾 美紀

外国人住民に対する災害への備えと災害発生時の対応

1. 課題（ご協力・ご意見をいただきたいこと）

○ ご協力いただきたいこと

- ・「災害の発生に備えた取組」の周知。
- ・災害発生時の情報の提供。

○ ご意見いただきたいこと

- ・新しく住む外国人や防災意識の低い外国人にどう備えをしてもらうか。
- ・実際に災害が起きた際、効果的な情報発信方法は。
- ・言語面以外の文化の違いによる支障にどう配慮するか。（食べ物、宗教等）

2. 災害の発生に備えた取組

(1) 防災カードの配布

災害発生時の対応方法や避難方法を記載したポケットサイズの防災カードを11言語※で作成。区役所等で配布しているほか、神戸国際コミュニティセンターのHPで掲載。

KICC URL: https://www.kicc.jp/ezja/living_guide/living/disaster/bosai

※ 日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国・朝鮮語、スペイン語

ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語



(2) 特設サイト「神戸市リアルタイム防災情報」の開設 2024. 3/15～開始

リアルタイムで警報・注意報情報、地震・津波情報、対策本部からの情報等を発信。12言語※に対応。

URL: <https://city-kobe.my.salesforce-sites.com/>

※ 日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語（繁体・簡体）、インドネシア語、

ウクライナ語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、ポルトガル語

Kobe City Real-time Disaster Prevention Information

Emergency information: There is no emergency information.

notice: There is no notification.

Evacuation information: There is no evacuation information.

Evacuation center information: There is no evacuation center information.

alarm Warning: 2024/03/18 10:10 Announcement (Strong wind advisory, Wave advisory, Dry warning, frost advisory)

Sediment disaster Warning information: There is no information currently being announced.

earthquake: There is no information currently being announced.

tsunami: There is no information currently being announced.

(3) 帰宅困難者支援システムの運用 2024. 4/1～開始

災害発生、公共交通機関の停止時に、案内板等に設置の二次元コードをスマホで読み取ることにより、一時滞在施設の検索・予約等が可能。英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ベトナム語に対応。

(4) ひょうご防災ネットの登録促進

兵庫県が運営する、防災情報や避難情報をアプリやメールでプッシュ通知する「ひょうご防災ネット」(11言語※対応)の登録を促進。

ひょうご防災ネット HP URL: <https://bosai.net/index#top>

※ 日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国・朝鮮語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語

主な機能

避難に関する情報や各種気象情報などをプッシュ通知!

いざという時に備え「マイ避難カード」を作成

12外国語対応

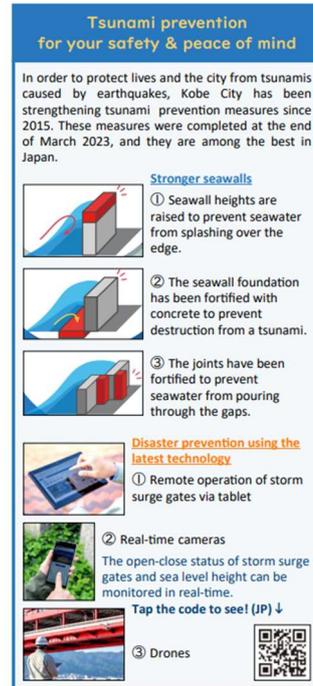
防災情報ポータルサイト

音声読み上げ

(5) 多言語版広報紙 KOBE

やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語で、防災も含めた外国人に必要な情報を発信。

広報紙 KOBE HP URL: <https://www.city.kobe.lg.jp/a74716/kobepaper.html>



(6) 英語・ベトナム語による SNS 発信

平常時から Facebook (英語・ベトナム語) や X (英語) では防災情報含めた生活情報を発信。さらに、英語のものについては、災害時に避難情報等の発信を実施。

Facebook (英語): <https://www.facebook.com/kobecityPR>

Facebook (ベトナム語): <https://www.facebook.com/kobemadoguchi/>

X (英語): <http://twitter.com/kobekoho>



(7) 在住外国人向け防災啓発イベントの実施

在住外国人を対象にした啓発イベントを実施。

日本学生支援機構委託事業 国際交流拠点推進事業
在住外国人、日本人学生 対象!

防災バスツアー! Vol 2

9月 12日(火) 9:00-17:00

企業見学しながら一緒に防災を学びませんか?!

選択できます! **A** or **B**

A 日本語
エム・シーシー食品株式会社
創業100年。日本人に愛される食品会社。レトルト食品「100時間かけたカレー」は特に有名! 防災食も手掛ける。
●防災マインド●
「災害時にも本当においしいものを食べて元気になるって欲しい」
【体験内容】
企業理念・工場見学・MCC食品の商品の試食

B 英語サポート有り
神戸酒心館
創業272年。伝統ある神戸の酒蔵。阪神淡路大震災後いち早く復興し、今もお活躍し続ける。
●防災マインド●
「災害にあっても、日本の伝統文化酒造りの灯は消してはならない」
【体験内容】
企業理念・酒蔵見学・日本酒試飲

◆当日の流れ◆
9:30-12:00 企業見学
12:30-14:00 昼食
(ハラル食品&ベジタリアン食品)
14:10-17:00 館内見学

【集合】
8:45 兵庫国際交流会館(JR灘駅 徒歩5分/阪神岩屋駅 徒歩3分)

参加費 無料!

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
阪神淡路大震災の体験
「いま日本で災害に遭ったら? どうすればいいの?」

いざという時に役立つ
防災食のお土産有り!

3. 災害発生時の対応

(1) 外国人相談窓口の設置

災害の状況に応じて、神戸国際コミュニティセンターに外国人専用相談窓口を設置。市と連携して、領事館・外国人コミュニティ、避難所等からの情報収集やニーズの把握、多言語による相談対応、情報発信に取り組む。

(2) 通訳・翻訳者の手配

神戸国際コミュニティセンターにて、災害時の通訳・翻訳が必要な場合に備え、「災害時通訳・翻訳ボランティア」※の募集をしていたり、近隣自治体との通訳・翻訳ボランティアの派遣に関する協定を結んでいる。これらの方々の、市民相談や手続きで必要な場合に派遣する。

※ボランティアの登録状況 (2024年2月末)

64名、11言語 (インドネシア語、英語、スペイン語、韓国・朝鮮語、スワヒリ語、中国語、タイ語、ネパール語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語)

(3) 多言語による情報発信

市のホームページや SNS を通じて、多言語で外国人に必要な情報を発信するとともに、直接、外国人支援団体や外国人コミュニティ、領事館などへも情報発信を行い、周知にご協力いただく。

地域における外国人との共生の推進



神戸市地域協働局地域協働課



1. 背景

○ 人口動態の変化に伴う深刻な人手不足

- (国の対応) ・ 技能実習制度の見直し
- ・ 特定技能制度の拡充

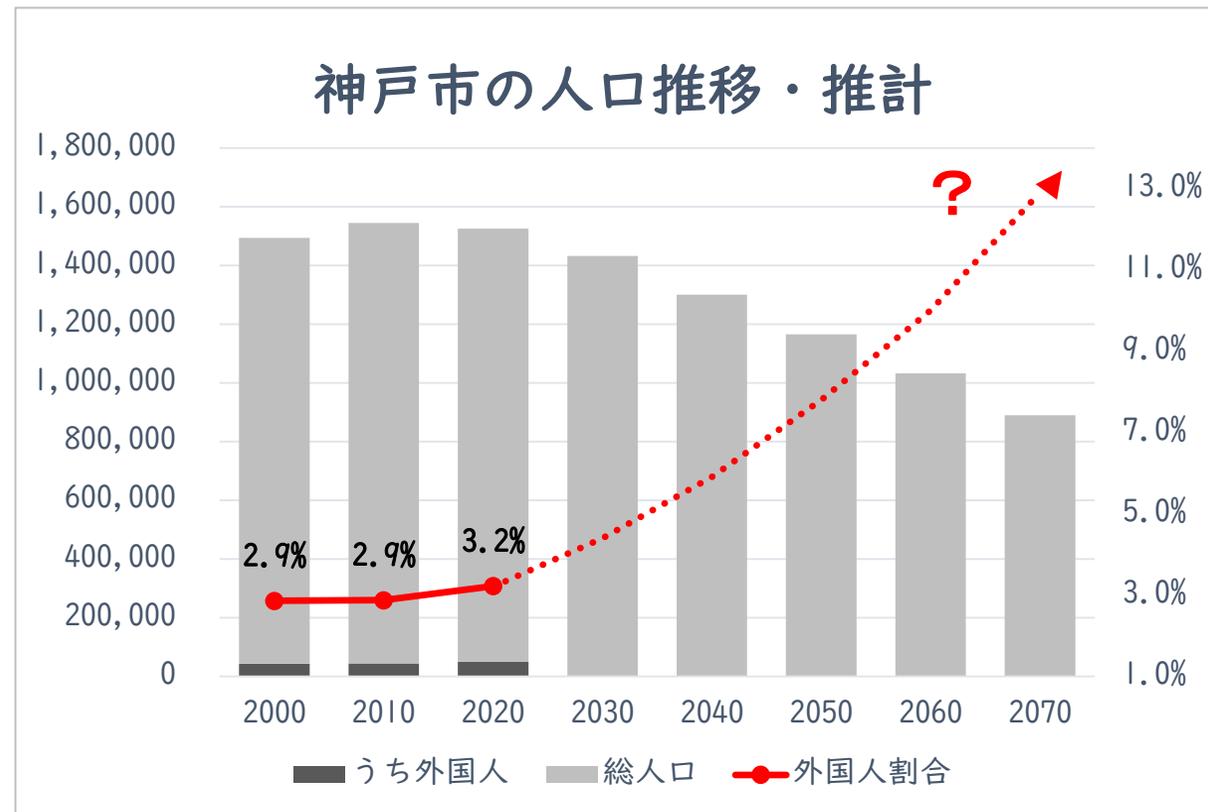
○ 激化するグローバルな人材獲得競争

- (国の対応) ・ 留学生受入目標数の引き上げ
- ※ 受入目標：2033年までに40万人



就労者・留学生を中心に、

在住外国人は今後も増加が見込まれる。



※総人口 :神戸市 将来人口推計2023

(<https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/data.html>)

2. 在住外国人に関する実態把握調査

○ 趣旨

- ・神戸市内で急増する在住外国人の生活状況の把握を進めるとともに、彼らが地域で生活していく際に、外国人住民・地域住民の双方が抱えている課題を明らかにし、その解消策の検討・実施に活かしていく。

○ ヒアリング対象（外国人105名、関連機関100団体）

- ・在住外国人
- ・在住外国人の受入機関（外国人雇用企業・監理団体・日本語学校・専門学校等）
- ・在住外国人と関わりの深い施設・団体（外国人コミュニティ・支援団体・料理店・宗教施設等）
- ・地域の住民・団体
- ・官公庁等
- ・庁内関連部署

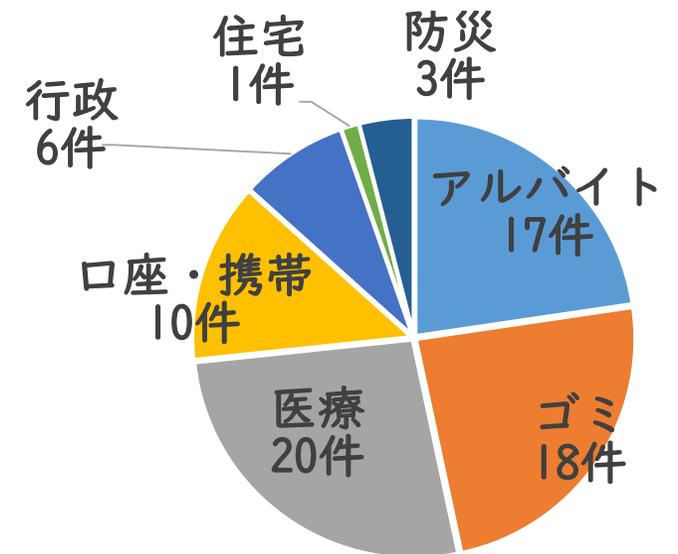
○ ヒアリング内容

- ・外国人：生活状況、コミュニティ状況、生活に係る相談先/情報源、困りごと、支援制度の認知度等
- ・地域：外国人住民の増加に伴う課題、外国人住民との交流状況等

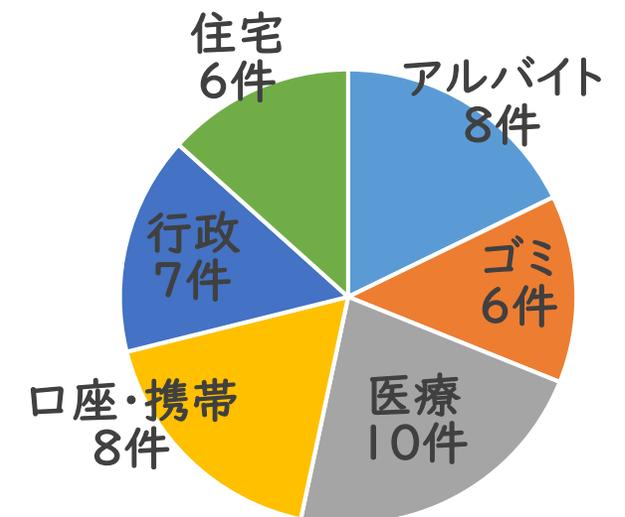
2. 在住外国人に関する実態把握調査

留学生の生活上の課題（概要）

- ・当初、日本語能力の問題から、アルバイト探しやごみ分別ルールが難しい。
- ・日本語能力が向上しても、医療機関の受診は難しい。
- ・口座開設・携帯契約は制度上の制約から、学校等の支援が不可欠
- ・防災に関しては、課題としてあがらないことが問題
- ・住宅確保に関しては、当初入居できる寮の存在があり、その後の転居時に課題となる。
- ・KICC(神戸国際コミュニティセンター)等の認知度は低い。
(給付や食糧支援は口コミで広がる。)
- ・時間に余裕のない学生が多い。



<外国人回答(60名)>

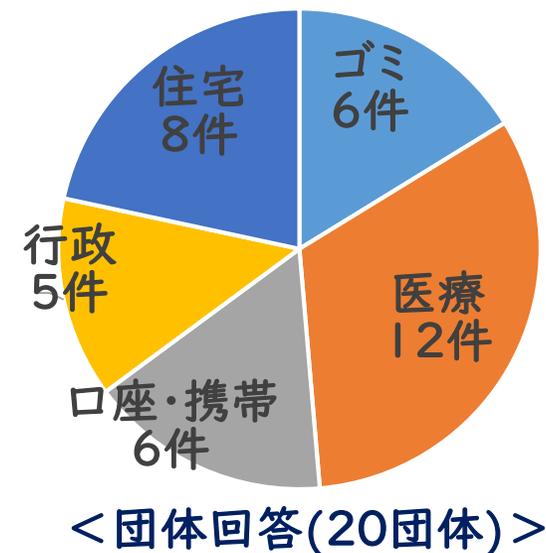
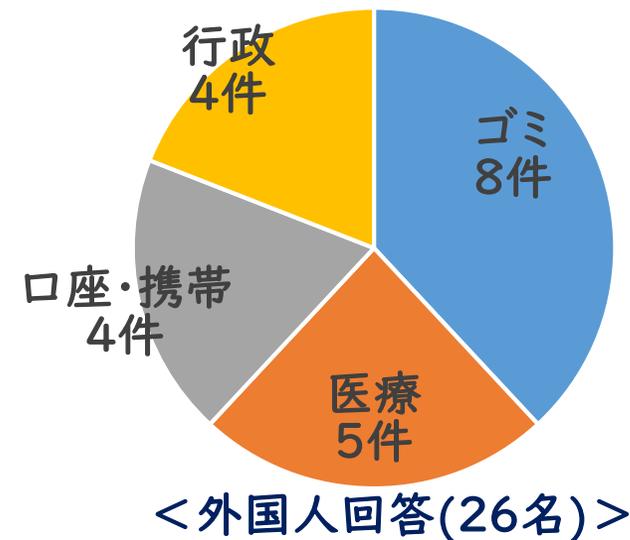


<団体回答(20団体)>

2. 在住外国人に関する実態把握調査

技能実習・特定技能の生活上の課題（概要）

- ・特に技能実習生は、監理団体が手厚くフォローしており、基本的に「困りごとはない」という人が多い。
- ・特定技能も、受入企業等による一定のサポートがあるものの、住宅確保や医療受診、地域差のあるごみ出しルール等で課題
- ・日本語を継続的に勉強している人が多い。
特に、業務に関する専門用語が難しい。
- ・防災に関しては、課題としてあがらないことが問題
- ・住宅確保に関して、技能実習は受入企業が住居を用意するが、特定技能は受入企業ごとに異なる。
- ・KICC(神戸国際コミュニティセンター)等の認知度は低い。



2. 在住外国人に関する実態把握調査

(参考) その他の在留資格で滞在する外国人

基本的な生活・労働状況や情報収集能力などは日本人と相違ない一方で、
実家や幼馴染などが近隣にいない分、日本人に比べると交友関係や情報源は狭くなっている傾向

お困りごと

- ごみ
 - ・資源ごみの出し方が分からない。
- 医療
 - ・診療科が分からない。病状を伝えられない。精神ケアをしてくれるところがない。
- 住宅
 - ・保証人がいない。
 - ・敷金礼金や火災保険、1カ月前の退去申告、退去時の立会いなど、日本特有の不動産慣習が難しい。
- 行政
 - ・税金、保険、年金、保育制度等、公的制度が難しい。通知書に何が書いてあるか分からない。
 - ・区役所に通訳者がいない。電話での問い合わせはハードルが高い。
- その他
 - ・学校・保育所との、また親子間での意思疎通が難しい。(子:日本語,親:母語)
 - ・子自身の日本語能力や、親の日本語能力・日本の学校制度への理解の問題による学習の遅れ
 - ・子の母語・母文化教育が進まない。(思考言語が十分に育たないダブルリミテッドの問題)

2. 在住外国人に関する実態把握調査

(参考) 地域との共生の状況

(増加する外国人住民との付き合い方)

真野地域(長田区)では、騒音やごみ等、当初は増加する外国人住民に対する批判も大きかったが、日頃の挨拶や、ベトナム寺のイベントへの協力等を通じて、共生の感覚が養われてきており、公園の掃除をベトナムの人が手伝ってくれるような関係になっているという。

ほかの地域でも、困りごともある一方で、外国人との交流・共生には前向きな意見は多い。

- ・ 本当に困っている人に出てきてもらって、横のつながりを作っていきたい。
- ・ 近くに住んでいる間柄なので、機会があれば、交流してみたい。
- ・ 災害時などに助け合うには、お互いの考えや視点を共有したい。

しかし、今まで外国人と地域の交流はなく、アプローチ方法が分からない。

また、ごみ出しや自転車ルールを伝えようにも、どのように伝えれば良いか分からない。

- ・ 隣に住んでいる外国人がどういう人なのか知らないし、接点がない。
- ・ 外国人にお声がけしたいけど、いきなり日本語で話しかけてよいのか、どのようにすればよいか分からない。

3. 今後の取組予定

地域における外国人をめぐる諸課題

地域目線	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の生活ルール・慣習からの逸脱（ごみ出し、自転車マナー、騒音等）・ コミュニケーション(相互理解・きっかけ)不足に伴う地域社会からの隔絶
外国人目線	<ul style="list-style-type: none">・ 日本の社会制度や生活慣習等の理解・認知度が低い（福祉制度、教育制度、医療制度、不動産慣習、ごみ出し、防災等）・ 地域社会からの孤立、孤独、偏見



取組の方向性

- ① 外国人に対する生活に必要な情報や役に立つ情報の周知
- ② 地域における外国人との相互理解・交流の促進

3. 今後の取組予定

(1) 生活状況や課題に関する実態把握

在住外国人を対象とした効果的な施策立案のため、特性や生活課題を継続的に把握する仕組みを構築

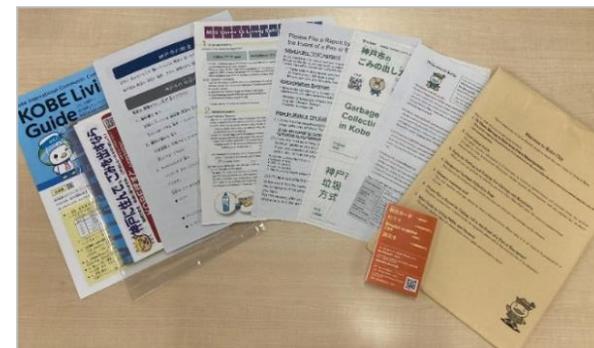
- 例) ・ 在住外国人向けWEBアンケート制度
- ・ 共生に関する課題及び、その解消策に関する留学生を中心とした政策提案会



(2) 生活に必要な情報や役に立つ情報の周知

神戸市で生活するうえで必要となる生活情報を重層的かつ体系的に発信・周知

- 例) ・ 区役所窓口での配布資料の見直し
- ・ 生活オリエンテーション事業の体系化
- ・ 生活情報等を題材とした日本語学習教材の充実



3. 今後の取組予定

(3) 地域における相互理解・交流の促進

市民主体の地域共生活動に必要な支援体制、
地域と外国人とがつながるためのネットワークの構築

- 例) ・ 多文化交流員制度の拡充
- ・ 関心のある個人・団体を対象とした講座や、
関係機関とのマッチング等の事業実施支援
 - ・ 急増地域(東灘・西)における実態把握、及び、
地域と関係機関とのつながりの構築支援

<急増地域(東灘・西)における取組のイメージ>

①各地域における外国人の実態把握

外国人関連機関(学校や企業、飲食店等)や地域団体を訪問
⇒関連機関との関係性・ネットワークの構築

②地域におけるごみ出し、騒音等の課題への対応支援

区や環境局事業所等による対応時に、通訳等、
言語的・文化的に異なる外国人とのコミュニケーションを支援

③交流の促進・支援

地域・外国人に交流を働きかけ、相互理解に必要なノウハウ提供や、
関係団体とのコーディネート等の伴走支援



(参考) 教育分野における来年度の新規施策

○ 初期日本語指導拠点教室の開設 (神戸市教育委員会事務局)

日本語が話せない新渡日の児童生徒に対して、初期日本語を集中的に指導する拠点教室を開設

①場所：総合教育センター (ハーバーランド) ※指導には3室を利用

②対象：神戸市に転入した小1～中3の新渡日 (R6年4月1日以降の編入学者) の児童生徒
※新渡日でも初期日本語が出来る者は除く

③指導形態

- ・学年別3クラスで実施 (A:小1～小3、B:小4～小6、C:中1～中3)
- ・1日45分×3時間 (Ⅰ:9:00～9:45、Ⅱ:9:50～10:35、Ⅲ:10:40～11:25、連絡10分)
- ・終了後は在籍校に戻る (給食・午後の授業)
- ・11日間/クールを年間11クール実施

④指導内容：初期 (サバイバル) 日本語

※学校で最低限必要な日本語、文字の読み書き等